

平成24年度指定研究の概要

本庁又は出先機関が定める指針などにより実施する研究です。

本年度は、政策局 総合政策部 科学技術政策課「神奈川地域資源活用研究事業」1課題、「神奈川重点実用化研究事業」1課題を実施しています。

神奈川地域資源活用研究事業

| No. | 研究員 | 所属 | 研究課題(概要) |
|-----|------|--------------------|--|
| 1 | 宮澤真紀 | 理化学部 薬事毒性・食品機能G | 地域特産物の新規利用開発と安全性・有効性の迅速評価法に関する総合的研究 地域特産物に関連した低利用食品素材や加工残滓等の産業廃棄物の二次活用を目的とする食品開発は、環境負荷を軽減するだけでなく、地域産業の振興にも繋がる。更に、健康志向の高まりに伴って、食品の機能性への関心や安全性に対する要求も強く、新規食品素材の機能性や安全性を科学的に検証し、県民の安全と健康を確保して県民福祉に貢献することを目指す。 |

神奈川重点実用化研究事業

| | | | |
|---|------|---------------|---|
| 1 | 大森清美 | 理化学部 食品化学G | 神奈川県発の発がん性予測試験法の国際標準化に向けた網羅的生化学データベースの構築 神奈川県が開発した「Bhas42細胞形質転換試験法」は、化学物質の発がん性を予測するための国際標準試験法(OECDテストガイドライン)として、国際認定に向けた審議が行なわれている。本試験法における細胞のがん化のしくみを明らかにし、試験法の有用性を裏付けるために、遺伝子の網羅的かつ詳細な解析をおこない、「Bhas42細胞形質転換試験法」のOECDテストガイドライン化への推進力とする。 |
|---|------|---------------|---|